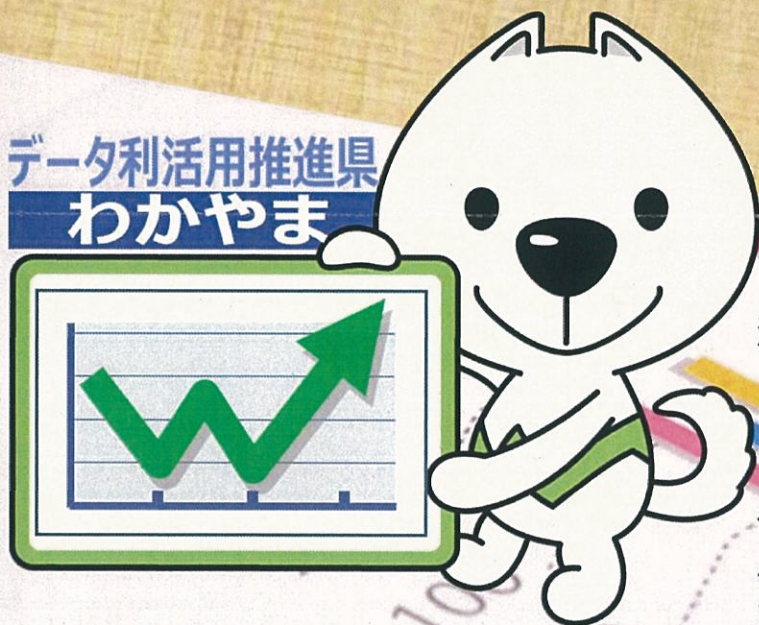


平成29年度
和歌山県
データ利活用

研究 公募

データ利活用推進県
わかやま



和歌山県PRキャラクター
「きいちゃん」

和歌山県は、エビデンスに基づく行政を推進するとともに、全国にデータ利活用の重要性・有用性を発信するため、平成29年度より、「和歌山県データを活用した公募型研究」を実施いたします。

◇研究テーマは2題から選択

- ①和歌山県の過疎地域における集落の維持・活性化と再編
- ②和歌山県の健康寿命の延伸

◇研究費：1研究当たり、上限200万円

◇研究期間：最大3ヶ年度まで選択可

応募期限

参加表明書

5月15日(月)

研究提案書

5月22日(月)

必着

詳細・申請様式等

和歌山県データ利活用推進
ホームページをご覧ください。

URL：<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/index.html>



【お問い合わせ先】

和歌山県 企画部 企画政策局 企画総務課 調査調整班

電話：073-441-2334 e-mail：e0201001@pref.wakayama.lg.jp

平成29年度和歌山県データを活用した公募型研究事業の概要

I 研究内容

県が設定する研究課題のうちいずれか1つを選択し、関係するデータを収集・分析して、問題が生じている要因の分析や課題解決に資する効果的な施策の提案等に関する研究を行う。

【研究費：1研究当たり、上限200万円】

・研究課題① 和歌山県の過疎地域における集落の維持・活性化と再編

各種統計データ（国勢調査、センサス、将来人口推計など）を活用し、人口動態、生活環境、地域コミュニティの動向などを集落毎に分析・数値化すること等により、無居住化の可能性がある集落の実態を把握する。

さらに、移住者などU・I・Jターンを受け入れた場合の人口シミュレーション分析（世代、家族構成別等）や集落の維持コスト、集落移転をする際に発生するコスト、集落移転後に発生するコスト（移転元、移転先）の試算分析等を行って、過疎地域における「ふるさと生活圏※」を単位として、集落を維持・活性化又は再編するための施策を提案する。

※ふるさと生活圏：中山間地域等において、日常的な生活サービスを享受できる生活拠点を中心に、周辺の一定規模の集落と一体となった地域

・研究課題② 和歌山県の健康寿命の延伸

人口動態統計や国民健康・栄養調査等の統計調査を活用するほか、新たに地域における生活習慣の状況調査等を実施して、県民の生活習慣等の特性について分析を行い、広域的な視点から健康寿命を延伸するための施策を提案する。

II 研究期間(履行期限)

平成29年7月頃～
(最長平成31年度末まで)

III 研究者の資格要件

単独又は複数の研究者による応募が可能。ただし、全ての研究者は、調査・研究の実績があり、以下に掲げるいずれかの機関に所属している学術研究者等であること。

ア 学校教育法に基づく大学及び高等専門学校並びに同附属試験研究機関等

イ 民間企業の研究開発部門、研究所等

ウ 研究を主な事業目的としている一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人及び公益財団法人

IV 選定方法

選定は、「和歌山県データを活用した公募型研究事業者選定委員会」が行う。

選定委員会は審査項目に基づき、研究提案書等に基づく書面審査及び必要に応じてプレゼンテーションによる審査を実施し、競争性・透明性の確保に充分に配慮しながら、各研究課題について、研究提案の内容、研究実施能力等の最も優れた提案をした者を委託候補者として選定する。

[選定委員会]

開催日：6月中旬～下旬

開催場所：和歌山市内

(県指定web会議システムによる参加が可能)

【お問い合わせ先】

和歌山県 企画部 企画政策局 企画総務課 調査調整班

電話：073-441-2334 e-mail：e0201001@pref.wakayama.lg.jp

URL：http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/index.html

